

検討会等名称	第5回福祉を科学する検討会
開催日時	令和7年3月17日（月）14時00分～16時00分
開催場所	東庁舎42会議室
出席者	高原委員、中西委員、羽生委員
問合せ先	障害サービス課独立行政法人化グループ
会議概要	以下のとおり

【自己研さん・職員交流】

- 利用者支援の好事例だけを話し合うのではなく、困難や抱えている課題を共有し、どのように解決していくのかを話し合う必要がある。
- 職員全体で支援を振り返り、改善が出来なかったのか考えなくてはいけない。誰かを責めるという話ではなく、足元をしっかりと見つめることが大事であり、明日の支援に向けて、一歩踏み込んだ自己検証や話し合う風土等が必要である。
- 合同研修については、既に横浜市社会福祉協議会が外部向けの研修を行っており、色々な人達と繋がるために、そのような取組が必要である。

【地域に対しての取組】

- 高齢分野や病院などでは、身体拘束を解除する先進的な取組を行っているところがあり、異業種交流を通じて、障害分野だけではなく、色々と進んでいるところを学ぶことが必要である。
- 神奈川県は、津久井やまゆり園事件の歴史を振り返りながら、これからの障害福祉について広く地域に伝えていく責務がある。
- 地域や中井やまゆり園といった点と点を繋げていくことが大事である。そうした点と点をどう繋げていくかを考えることが大事であり、第二らっかせいはそのための拠点を目指している。

【採用前研修】

- 職員間の絆や連帯感を生むために、一泊二日での職員研修を実施している事例もあり、参考にした方が良い。

【今後の人材育成・定着・確保の取組みについての提言【骨子】】

- この内容でよい。